

リケン、中国でのカムシャフト、ピストンリング生産体制を增強

— 厦門（アモイ）理研、新工場操業開始式典を実施 —

株式会社リケン（本社：東京都千代田区、社長：小泉年永、以下 リケン）は、中国での自動車部品事業拡大の一環として、既存の生産拠点である厦門理研工業有限公司（福建省厦門市、以下厦門理研）の工場移転・拡張を行い、新工場操業開始式典を12月1日に実施致しました。

操業開始式典には 葉厦門市副市長を始めとする市政府関係者、日系・米系自動車メーカー、二輪車メーカー等の主要取引先関係者、当社からは清田文夫代表取締役副社長他、グループ会社関係者が出席しました。清田副社長は「厦門理研は中国のモータリゼーションの進展とお客様及び地域の皆様に支えられ順調に業容を拡大して参りました。当社グループの供給体制を世界的に再編する中で、重要拠点のひとつとなる厦門理研の会社規模を倍増させるべくこの度新工場を立ち上げる運びとなりました。世界のお客様にご満足頂ける製品を生産致して参ります」と挨拶しました。

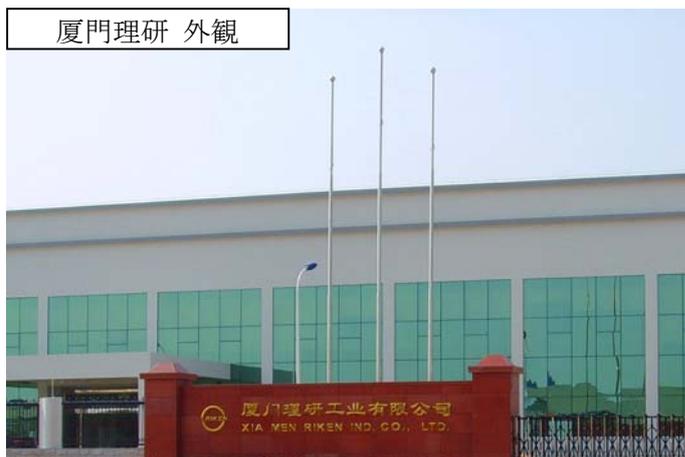
中国では自動車・二輪車・汎用エンジンの現地生産が拡大し、当社主力製品であるピストンリング及びカムシャフトの需要が拡大しています。グローバル展開を積極的に推進している当社は、四輪車用ピストンリングの新生産拠点として理研汽车配件（武漢）有限公司を2004年に湖北省武漢市に設立し、既に量産を開始しております。

厦門理研は1989年9月設立以来、ピストンリングを始めシリンダブロック等鑄鉄製品の生産・販売を行って参りました。今回の拡張に伴い、新たに日本から鑄鉄製カムシャフトの中空技術を導入し、カムシャフトの重要なグローバル生産拠点と位置付けると共に、ピストンリングについては大幅な増産を行い、二輪・汎用ピストンリングを中心とした需要増加に対応致します。

【 厦門理研の概要 】

- | | |
|---------|---|
| 1. 会社名 | 厦門理研工業有限公司 XIAMEN RIKEN INDUSTRIAL CO., LTD. |
| 2. 代表者 | 董事長：和田良昭 総経理：東城直樹 |
| 3. 設立年月 | 1989年9月14日 |
| 4. 所在地 | 中国福建省厦門市集美区灌口中路465-469号 |
| 5. 資本金 | 1,200万米ドル（株式会社リケン 50%、永豊企業グループ 50%） |
| | ※ 厦門理研は株式会社リケンと永豊企業グループが出資する台湾理研工業有限公司の100%出資子会社。 |
| 6. 敷地面積 | 61.8千平方メートル（建物延床面積 26.6千平方メートル） |
| 7. 生産品目 | ピストンリング、カムシャフト、その他鑄鉄製品 |
| 8. 生産能力 | ピストンリング：320万本/月（2007年）
カムシャフト：45万本/月（2007年） |

厦門理研 外観



【お客様からのお問い合わせ】

株式会社リケン 営業管理・SCM部
TEL 03-3230-3915

【報道関係者からのお問い合わせ】

株式会社リケン 経営企画部
TEL 03-3230-3912